



いのち支える



いのち支える自殺対策推進センター ニュースレター 第36号 (2024.10.07)



いのち支える自殺対策推進センター (JSCP) のニュースレターにご登録いただき、どうもありがとうございます。本号では、6年ぶりに大幅に改訂した「自死遺族等を支えるために 総合的支援の手引 (改訂版)」について報告いたします。また、「自傷・自殺未遂レジストリ」のデータを初めて取りまとめた報告書や、東京都江戸川区との連携協定に基づく自殺の分析結果とその対策、職員インタビュー等についてもお伝えします。

※このメールは、本ニュースレターの配信をご希望された方や、当団体の活動を通して、ご連絡先を頂戴した方に送信しております。今後メールの受信をご希望されない方は、お手数をおかけし大変恐れ入りますが、[こちら](#)から配信停止手続きのほど、お願いいたします。

<ニュースレター第36号トピックス>

1. 【自死遺族等支援】「自死遺族等を支えるために 総合的支援の手引 (改訂版)」を公開
2. 【調査・研究】「自傷・自殺未遂レジストリ」初の報告書を発表
3. 【調査・研究】東京都江戸川区「自殺で亡くなった区民との関わりに関する分析結果と対策」を公表
4. 【国際連携】WHOのWebサイトで日本の自殺対策を紹介
5. 【国際連携】英語版「JSCPニュースレター」の配信を開始
6. 【職員インタビュー】自殺総合対策部長・半谷まゆみ

1. 【自死遺族等支援】「自死遺族等を支えるために 総合的支援の手引 (改訂版)」を公開

JSCPは2024年9月30日(月)、「自死遺族等を支えるために 総合的支援の手引 (改訂版)」をWebページで公開しました。本改訂版は、2022年(令和4年)10月に閣議決定された[第4次自殺総合対策大綱](#)を踏まえて、自死遺族等と接する可能性のある地方公共団体や民間団体等の支援者向け冊子を6年ぶりに大幅に見直したものです。

本手引の特徴は、身近な人を自死・自殺で亡くした際のところやからだの反応や、直面し得る課題だけでなく、自死遺族等への支援を実施する上で配慮すべきことや、実際に行われている事業の実例を多く取り上げている点(改訂前の3事例から、27事例に増加)です。

自死遺族等を支えるために

総合的支援の手引(改訂版)

令和6年9月



「自死・自殺により家族や身近な人を亡くすと、自死遺族等の方々は、死別による心身への影響を受けるのみならず、故人が残した様々な課題がそのまま引き継がれる場合も多く、死別直後の混乱した状況の中で、各種手続や課題に対する対処など、様々な対応に追われることとなります。さらに、社会にはいまだに自死・自殺に対する誤った認識や偏見もあり、それらによって、自死遺族等の方々が悩みや苦しさを抱えたときそれらを打ち明けづらい状況に置かれがちです。

本手引は、こうした状況等を正しく理解し、支援を適切に行えるようにするための手引です。本手引が、自死遺族等支援に携わる関係者に広く読まれ、活用されることにより、必要とされる支援が行き届くとともに、自死遺族等の方々が生きづらさを感じることのない社会となることを切に願います。」

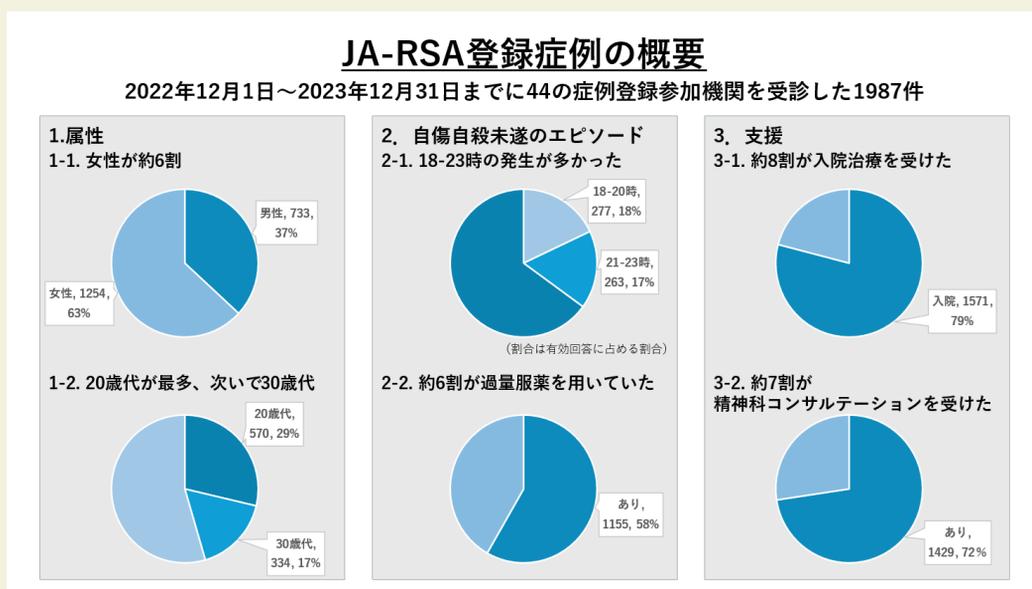
- 「自死遺族等を支えるために 総合的支援の手引（改訂版）」は[こちら](#)よりダウンロードいただけます

2. 【調査・研究】「自傷・自殺未遂レジストリ」初の報告書を発表

日本臨床救急医学会とJSCPは、2022年12月から、救命救急センターにおける自傷・自殺未遂例の登録システム「自傷・自殺未遂レジストリ；JAPAN Registry of Self-harm and Suicide Attempts」（以下「JA-RSA」）を運用しています。2024年9月10日（火）、JA-RSA初の年次報告書となる「自傷・自殺未遂レジストリ（JA-RSA）2024年報告書」を公開しました。自殺対策を推進するには、自傷・自殺未遂の実態解明やそうした経験をした人への支援の強化が重要で、世界保健機関（WHO）は各国における自傷・自殺未遂レジストリの構築・運用を推奨しています。日本以外でも複数の国で同様のレジストリが運用されており、貴重な知見が得られているところです。

JA-RSAは、日本における初めての大規模で継続的な自傷・自殺未遂レジストリであり、学術的、政策的な観点から、自傷・自殺未遂者支援に資することを目的としています。JA-RSAでは、救命救急センターを受診した自傷・自殺未遂者を対象とし、適切な研究倫理指針に基づき、属性、自傷・自殺未遂に用いた手段や、臨床転帰、実施された支援などに関する情報を、個人が特定されない形で収集しています。現時点で全国の救命救急センターのうち、59機関が参画しており、自傷・自殺未遂者支援に関する貴重な情報が提供されています。JA-RSA初の年次報告書をぜひご覧ください。

- 報告書は [こちら](#) をご覧ください



3. 【調査・研究】東京都江戸川区「自殺で亡くなった区民との関わりに関する分析結果と対策」の公表

東京都江戸川区は、2024年9月12日（木）に区長定例記者会見で、「自殺で亡くなった区民との関わりに関する分析結果と対策」を公表しました。JSCPは、この分析等は全国の自治体にとってモデルとなり得る取り組みであると考え、江戸川区と自殺対策データ分析等に係る連携協定を締結し、この分析等への協力を行ってきました。

今回の調査では、ある年1年間の、人口動態調査により自殺で亡くなったことが判別した区民103人を対象に、自殺で亡くなった人が関わりがあった区の部署や窓口、時期、内容について、調査・分析を実施。その結果、8割以上が生前、申請手続きや生活上の相談など、区と何らかの関わりがあったこと、また、29の部署で関わりがあり17課で相談を受けていたことなどが明らかとなりました。区では、調査・分析により見えてきた課題に対して、自殺対策の理念の共有、支援力の向上、支援者への支援強化に取り組み、自殺に追い込まれる人の減少を目指しています。

JSCPでは、当該調査について今後詳細なレポートをお届けする予定です。

- 江戸川区の分析結果は[江戸川区長定例記者会見の動画](#)をご覧ください

4. 【国際連携】WHOのWebサイトで日本の自殺対策を紹介

9月10日（火）の「世界自殺予防デー」にあたり、世界保健機関（WHO）のWebサイトに、日本の自殺対策の概要が掲載されました。

- 掲載記事は[こちら](#)をご覧ください



出典：WHOウェブサイト

WHOのNewsroom（ニュースルーム）「Feature stories」では、日本を含む各国の特色ある自殺対策の取り組みを紹介しており、各国の自殺予防に向けた参考事例として注目されています。

- WHOニュースルームのページは[こちら](#)をご覧ください

5. 【国際連携】英語版「JSCPニュースレター」の配信を開始

JSCPは2024年9月、英語版「JSCPニュースレター」の配信を開始しました。下記URLよりご登録いただくと、今後月に1回、メールにて英語版ニュースレターが届きます。海外で日本の自殺対策に関心を持つ方や自殺対策を実施している組織、研究機関などに対し、JSCPの活動をよりわかりやすく伝え、連携を強化していきます。

- 英語版ニュースレターのご登録、バックナンバーの閲覧は、[こちら](#)からご覧ください

6. 【JSCP職員インタビュー】自殺総合対策部長・半谷まゆみ

JSCPニュースレターではJSCPの取り組みについてより深く知っていただくため、「職員インタビュー」を随時掲載しています。今回は、自殺総合対策部長・半谷まゆみです。



<プロフィール>

半谷 まゆみ（はんがい・まゆみ）

神奈川県出身。2010年医学部卒。小児科専門医・指導医、医学博士。大学病院や市中病院で臨床医として研鑽を積み、2018年に公衆衛生学修士を取得。前職の国立成育医療研究センターでは、コロナ禍におけるこどものメンタルヘルスに関する研究及び啓発活動などに従事。

- 半谷のインタビュー「自殺問題に無関心だった自分 反省をバネに対策広げたい」は、[こちら](#)をご覧ください

■YouTubeの「JSCP_広報室」チャンネルで、研修動画等を順次公開中

<https://www.youtube.com/channel/UCNWP2O5zTuul-j8GITeKzHQ>

■Yahoo!ニュースエキスパートで、JSCPとして自殺問題・自殺対策に関する記事を配信しています
(JSCP広報室長・山寺が執筆)

<https://news.yahoo.co.jp/expert/authors/yamaderakaoru>

今後も、JSCPをどうぞよろしくお願いいたします。

なお、配信停止をご希望の場合には、以下のページから、お手続きをお願いいたします。

<https://jscp.or.jp/newsletter/>

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 news@jscp.or.jp



<https://www.facebook.com/JSCP.press>



https://twitter.com/JSCP_press

https://twitter.com/JSCP_www